

令和元年度第1回  
七北田川水系河川整備学識者懇談会

R1.6.10  
資料-3

# 七北田川水系の概要,現状と課題 及び目標について

---

令和元年6月10日  
宮城県土木部河川課

# 1. 七北田川水系の概要

# 2. 七北田川水系の現状及び課題

# 3. 七北田川水系の河川整備の目標

# 1. 七北田川水系の概要

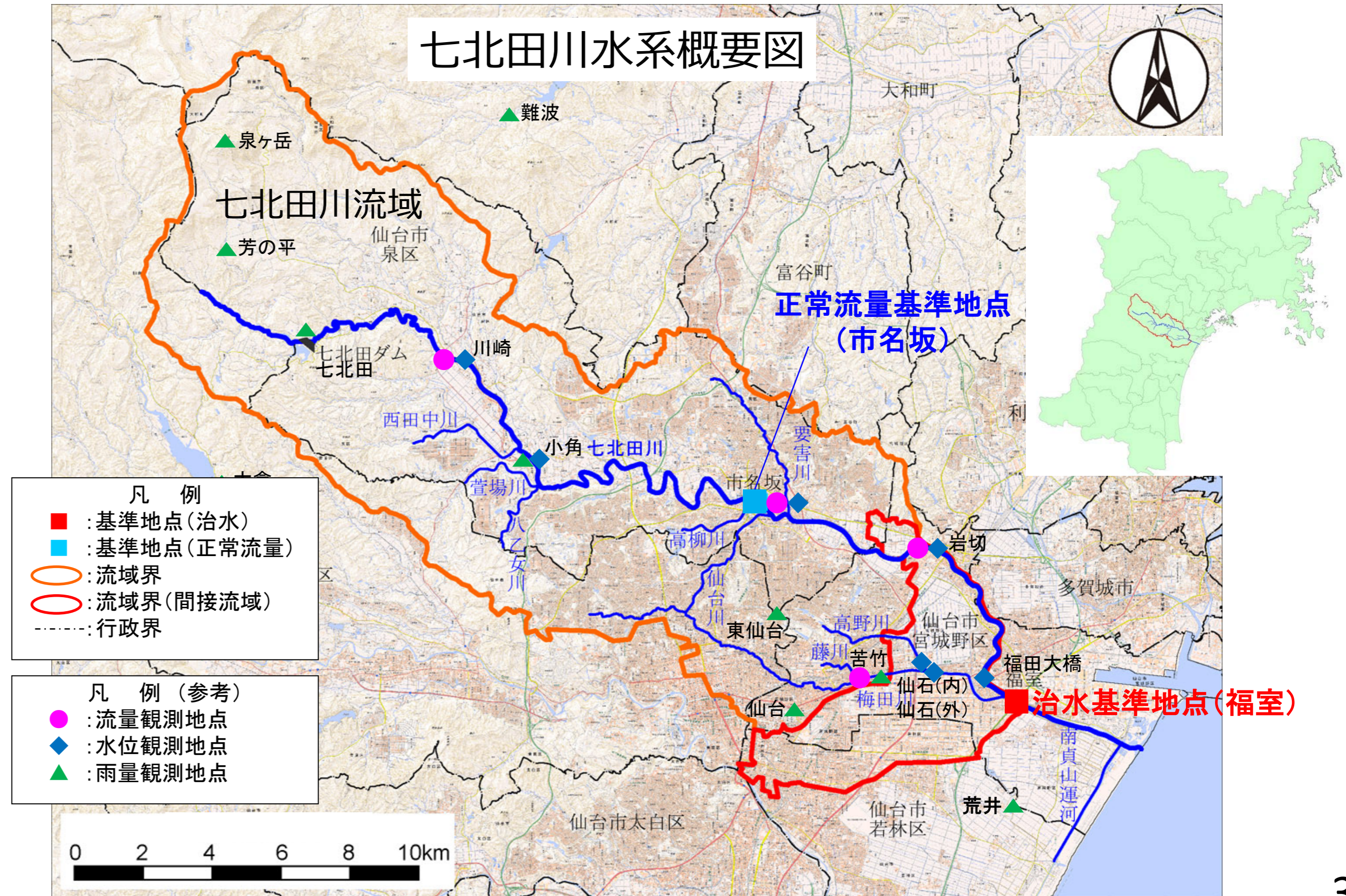


# (1) 流域及び河川の概要

- 七北田川水系は、幹川流路延長※は約45km、流域面積は215.3km<sup>2</sup>の宮城県最大の二級河川
- 流域市町は、主に仙台市からなる
- 管理河川は11河川、河川延長の合計は約86km

※幹川流路延長：一つの水系の中で幹川(主に本川)を定め、河口から谷をさかのぼった分水界上の点までの流路の延長

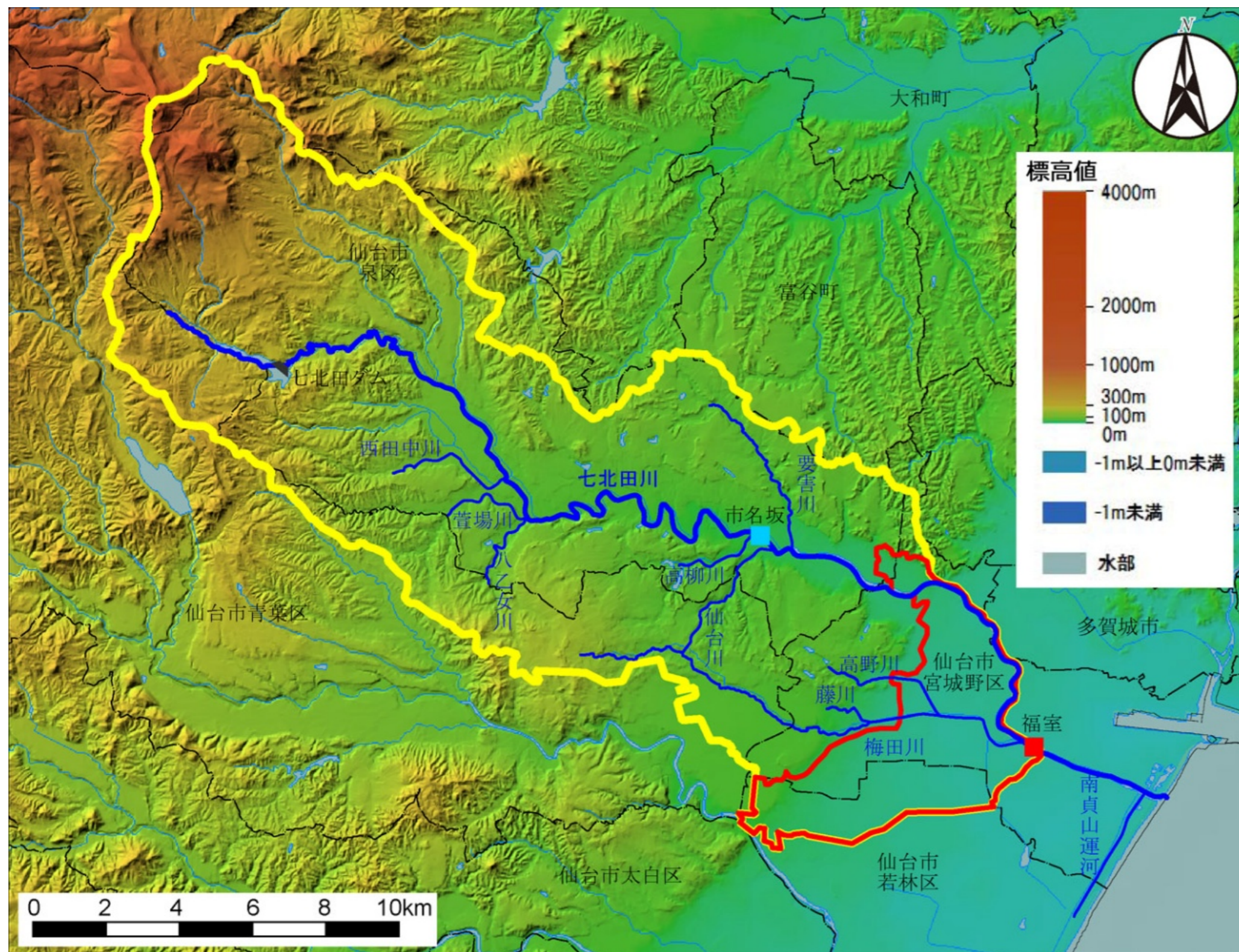
河川名	延長(m)
七北田川	40,899
南貞山運河	3,599
梅田川	13,035
高野川	3,900
藤川	1,500
要害川	6,000
仙台川	4,300
高柳川	3,000
八乙女川	2,700
萱場川	3,300
西田中川	3,400
<b>合計</b>	<b>85,633</b>



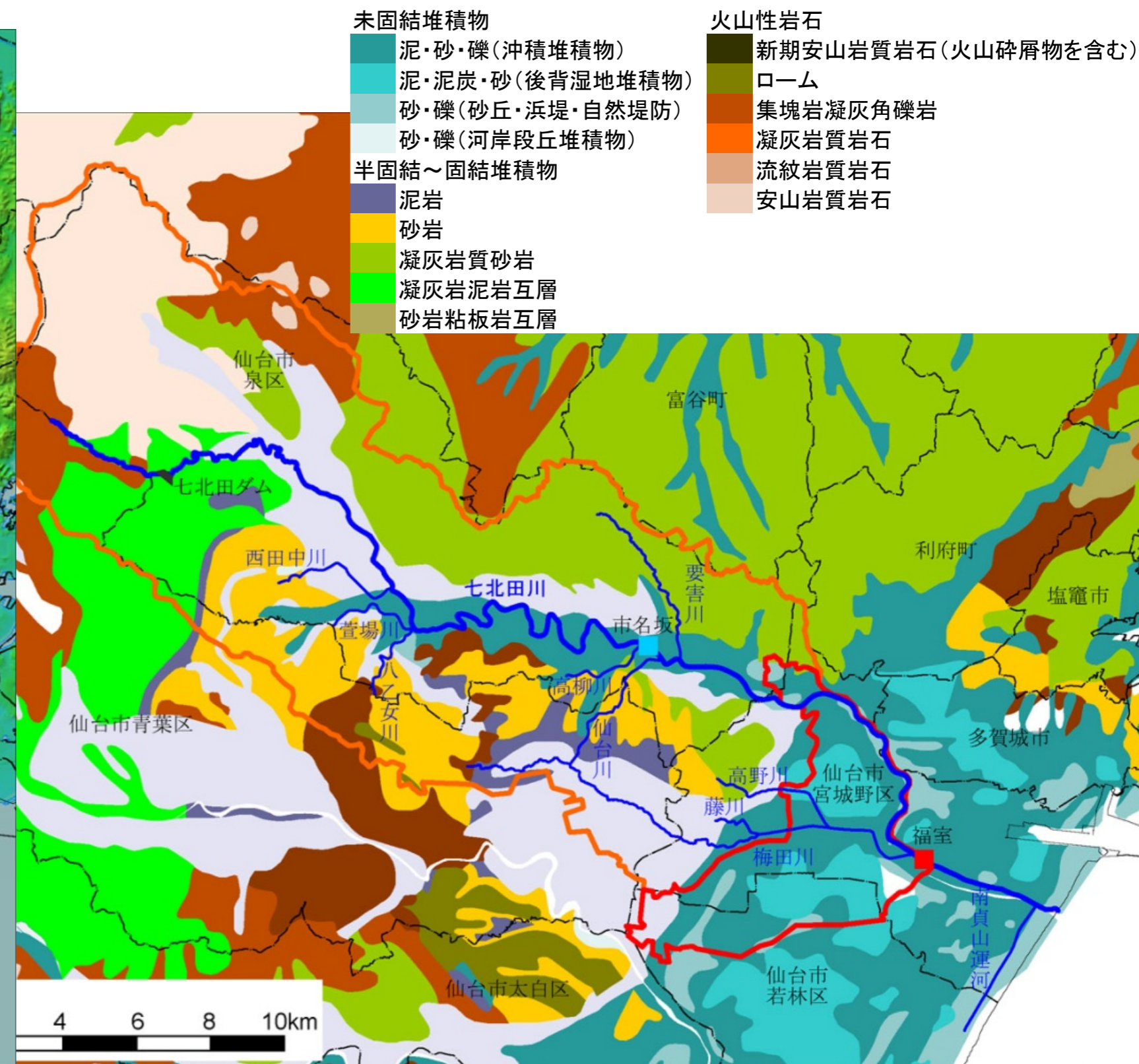


# (2) 流域の地形・地質

- 上流部は泉ヶ岳の山麓で山地部を形成し，地質は砂・礫（河岸段丘堆積物）からなる
- 中流部は丘陵地帯が多く褶曲をなして各丘陵からの支川が平地を形成し，地質は主として泥・砂・礫（沖積堆積物）からなる
- 下流部は平地耕土地帯で，地質は主として泥・砂・礫（沖積堆積物）からなる



出典：国土地理院（電子国土Web）



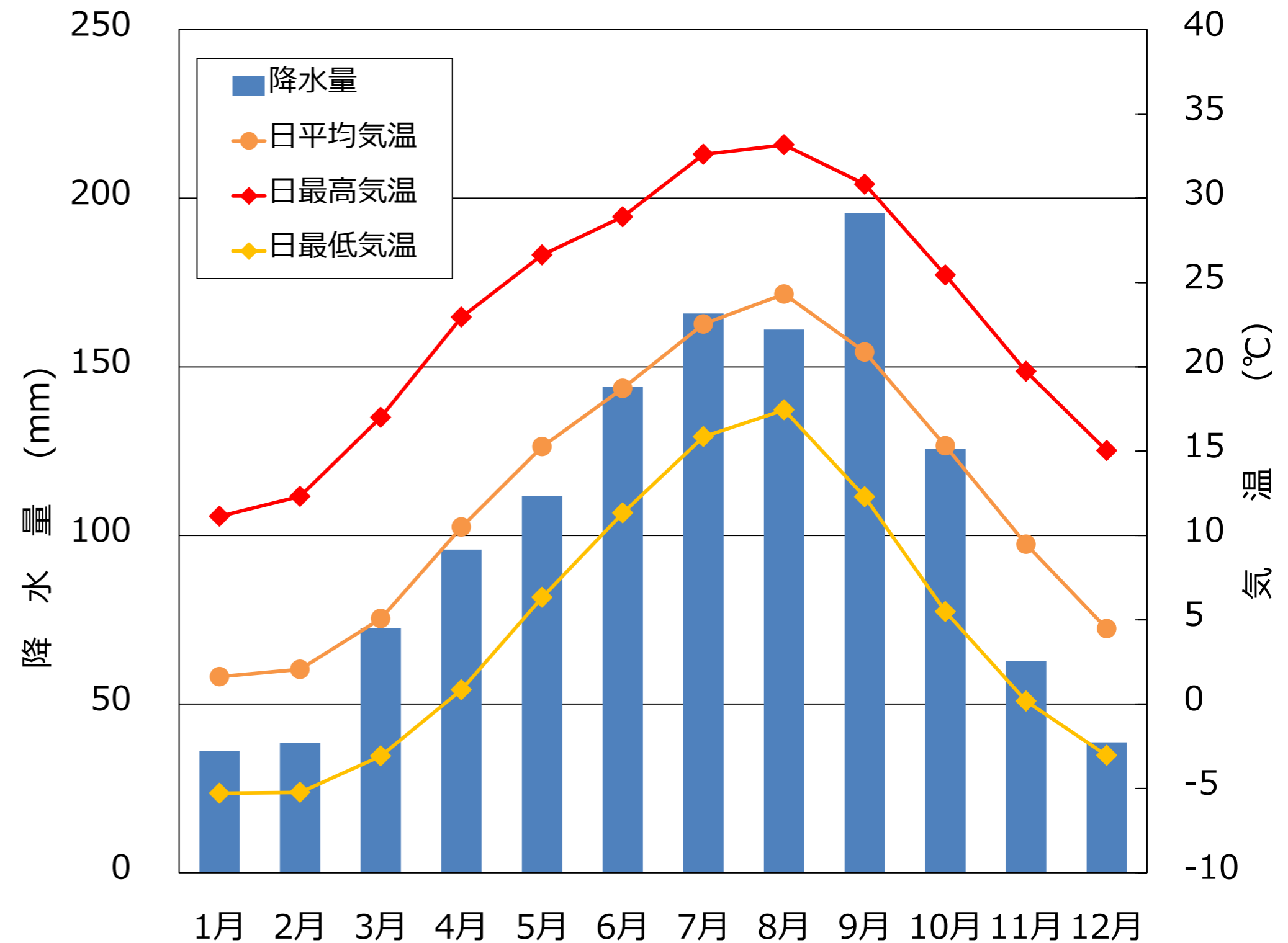
出典：国交省国土調査（20万分の1土地分類基本調査）



# (3) 流域の気象

- 気候は、夏季は比較的温暖で、冬季は雪が少なく晴天日数も多い
- 仙台気象観測所の過去38年間(1981~2018)の年平均気温は12.6℃、月平均降水量104.0mm、年平均降水量1,248mmである

月	仙台管区気象台			
	降水量 (mm)	気温 (°C)		
		日平均	日最高	日最低
1	36.2	1.7	5.3	-1.7
2	38.6	2.1	6.0	-1.5
3	72.5	5.1	9.5	1.1
4	95.8	10.5	15.3	6.2
5	111.8	15.3	19.9	11.4
6	144.0	18.8	22.7	15.8
7	165.8	22.5	26.1	19.8
8	161.1	24.3	28.1	21.6
9	195.5	20.9	24.7	17.8
10	125.6	15.3	19.6	11.4
11	62.8	9.6	13.8	5.5
12	38.6	4.5	8.3	0.9
合計	1248.3	-	-	-
平均	104.0	12.6	16.6	9.0

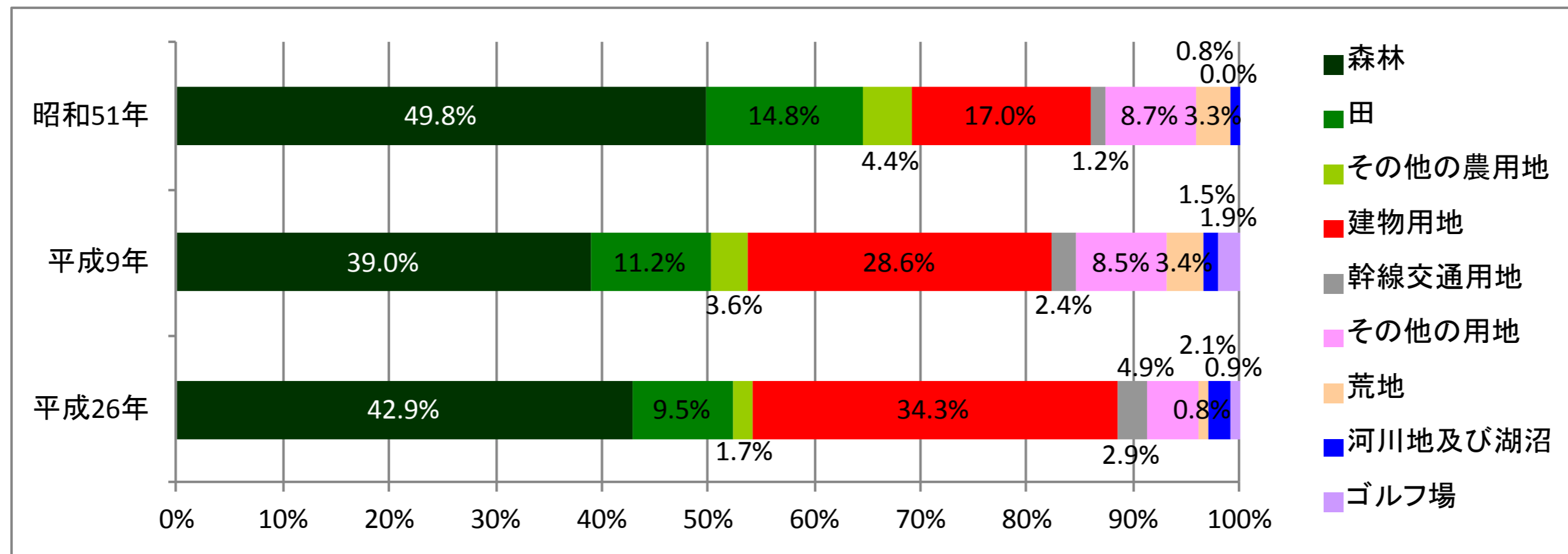
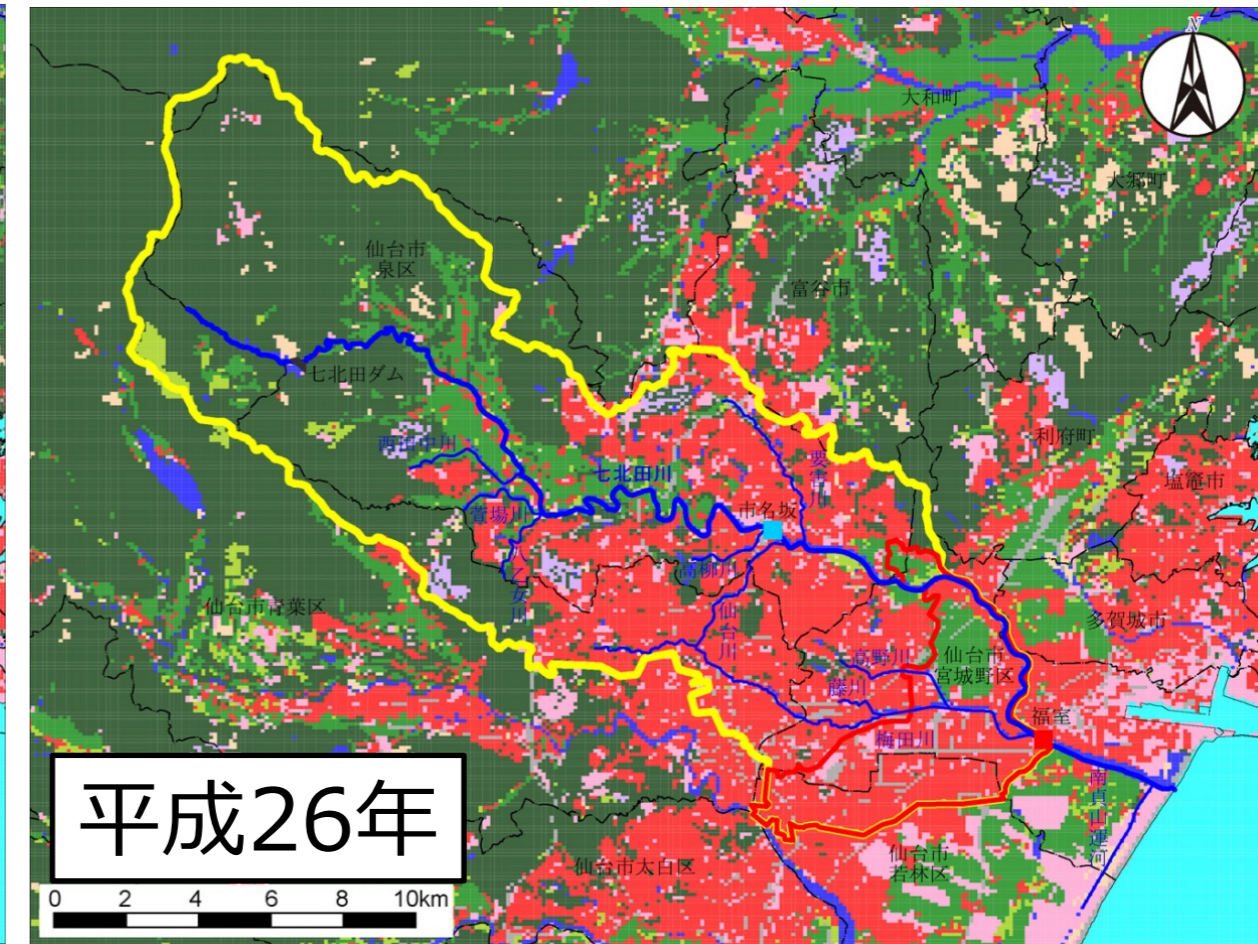
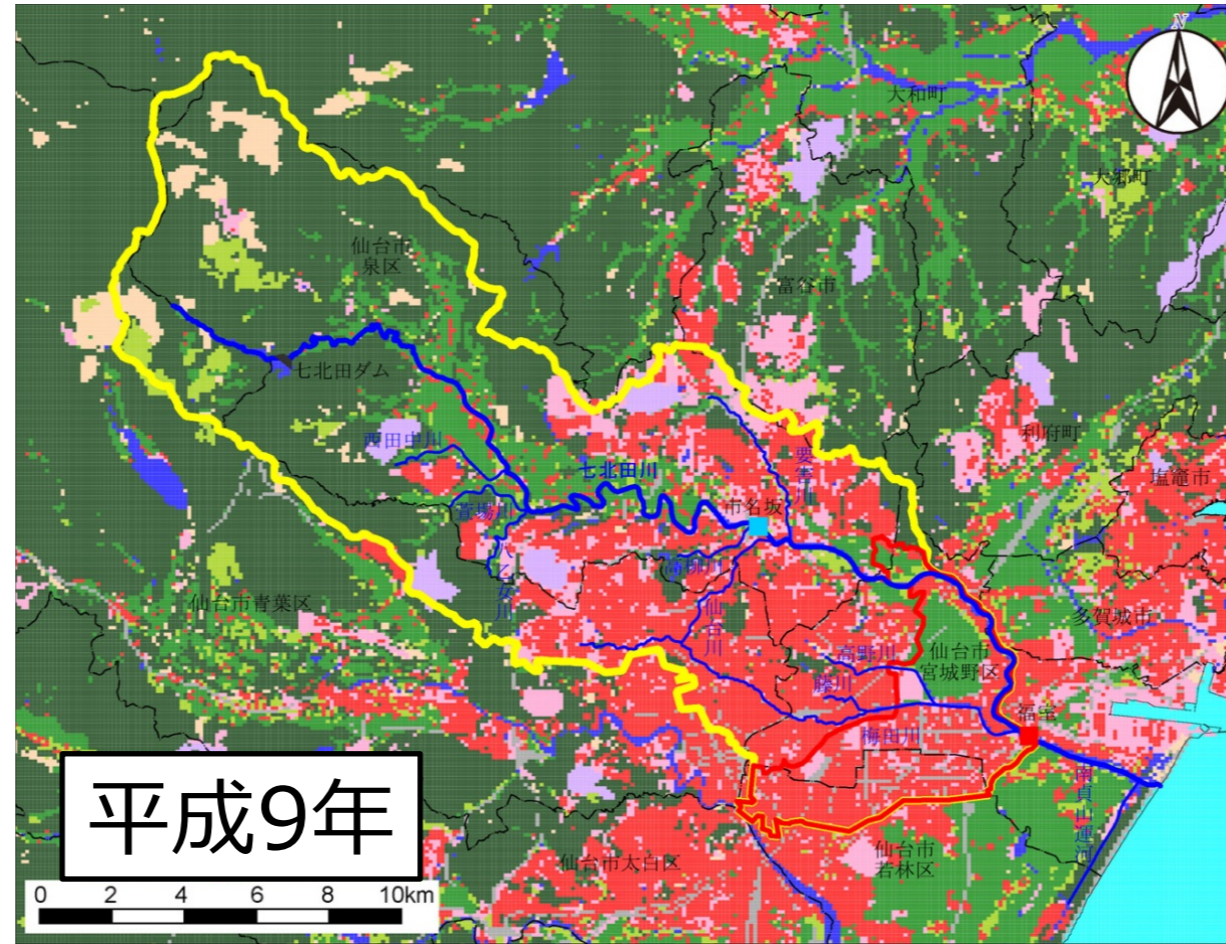
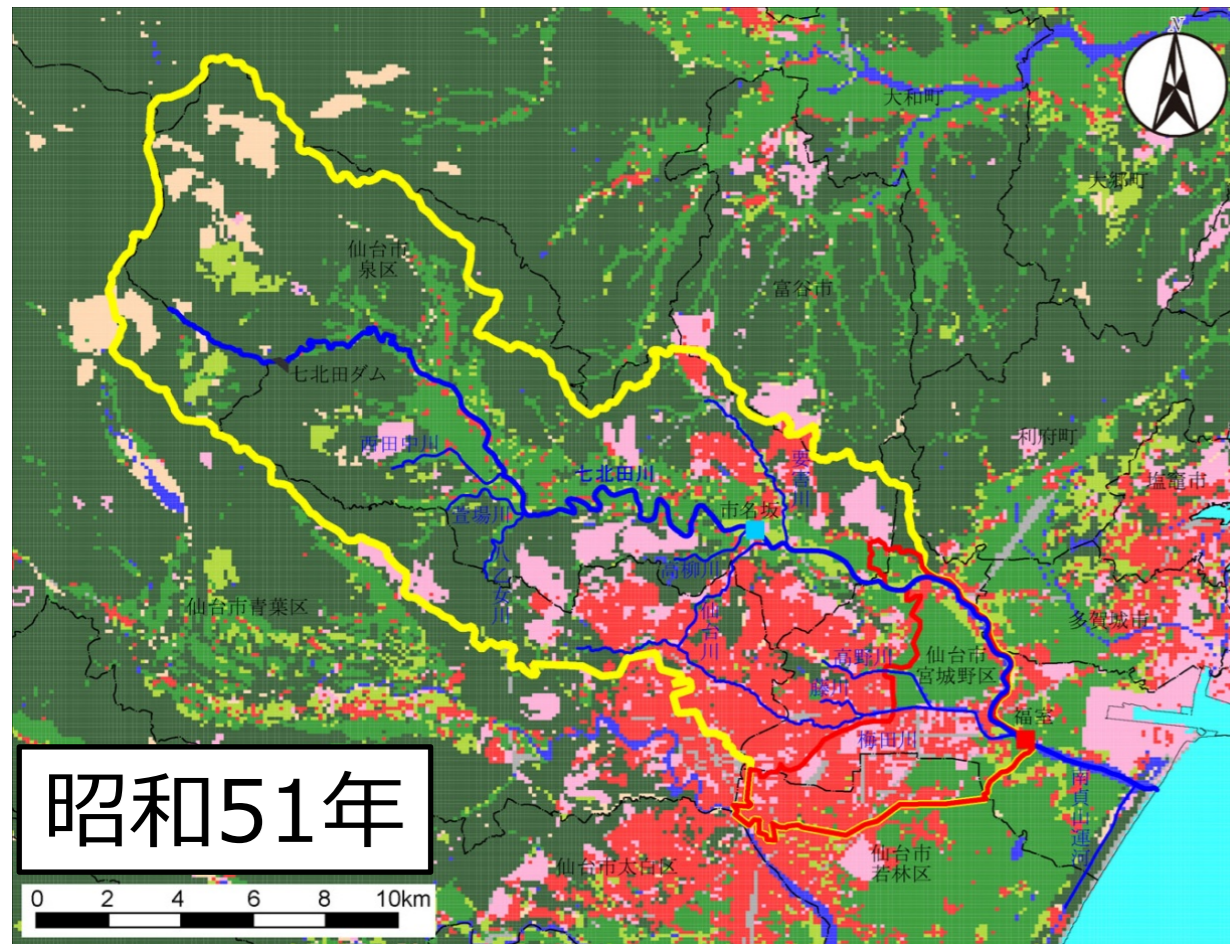


月別平均気温と降水量 (観測所：仙台 1981~2018の平均値) 出典：仙台管区気象台



# (4) 流域の土地利用

- 土地利用は，森林が約43%，農地が約11%，宅地等の市街地が約42%
- 仙台市の約30%の区域を占め，特に中下流域は戦後急速に都市化が進展した



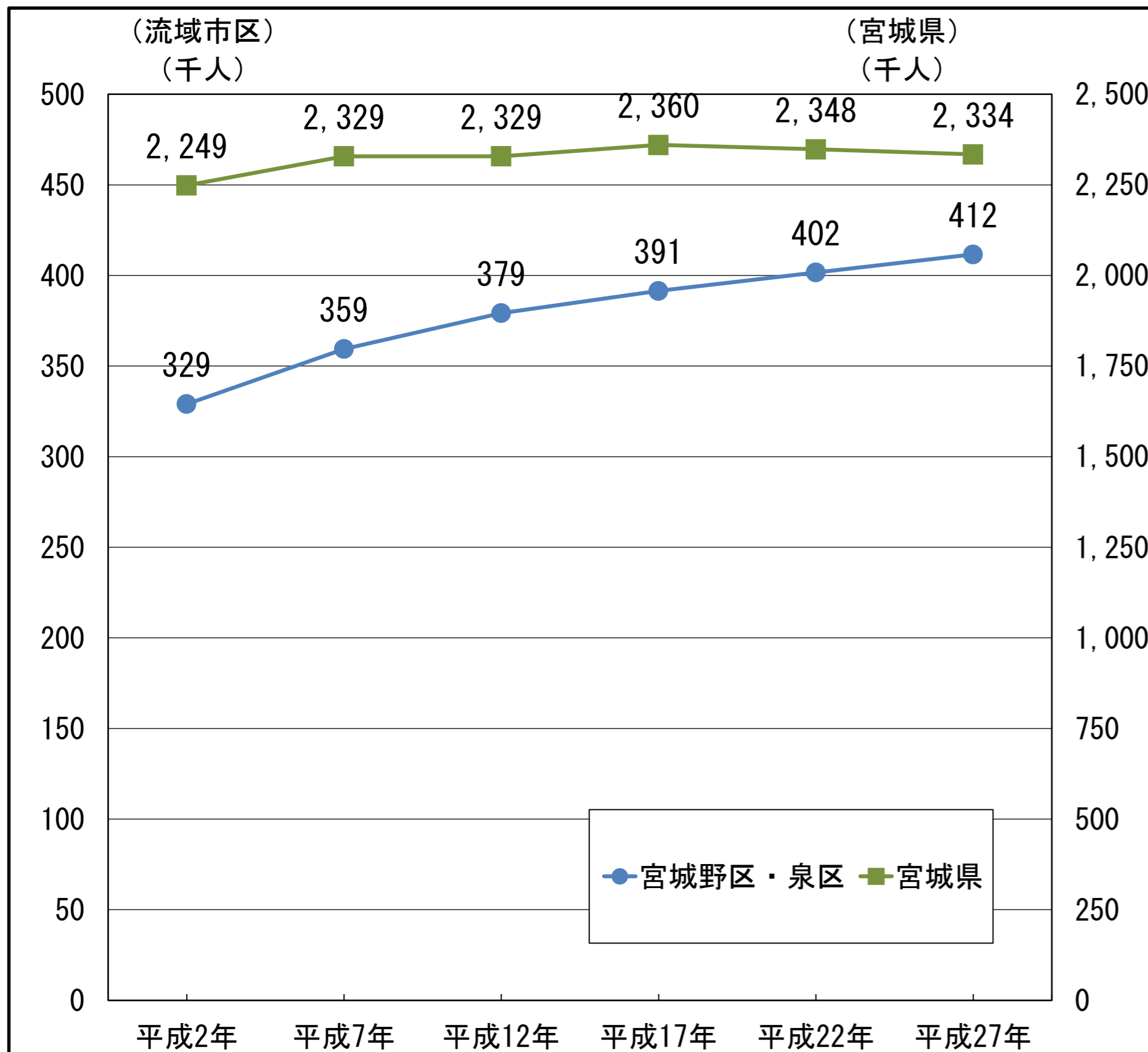
土地利用の推移

出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ 平成26年

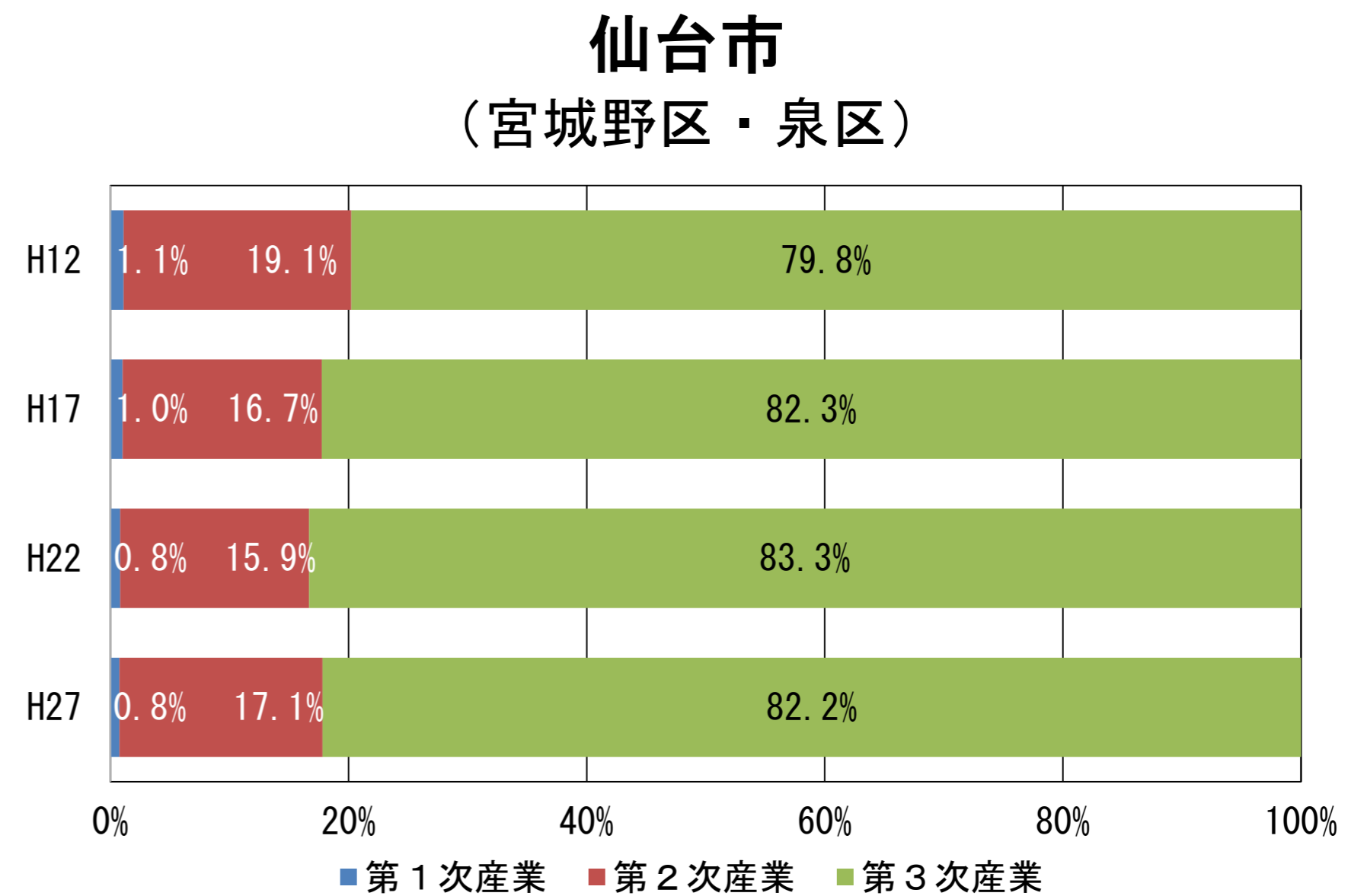


# (5) 流域の人口・産業

- 宮城県の人口が平成17年以降は減少傾向であるのに対し，七北田川流域（仙台市宮城野区，同泉区）の人口は，平成2年から平成27年まで年々増加している
- 都市流域であるため第1次産業就業者は少なく，第3次産業就業者数が80%以上を占めている



流域内人口の推移 出典：国勢調査



流域内産業別就業者数の推移 出典：国勢調査



# (6)これまでの主な災害履歴

- 昭和19年9月,昭和22年9月,昭和23年9月,昭和61年8月に大きな洪水被害が発生
- 平成27年9月洪水により七北田川上流域で浸水被害が発生

洪水年	主な被害	被災河川	被災原因
昭和19年9月	死者・行方不明者 22名, 全半壊家屋 159戸, 家屋浸水 4,469戸		
昭和22年9月	死者・行方不明者 30名, 全半壊家屋 209戸, 家屋浸水 29,704戸		
昭和23年9月	死者・行方不明者 67名, 全半壊家屋 375戸, 家屋浸水 33,611戸		
昭和51年9月	浸水面積 13ha, 被害家屋 108棟, 一般資産等被害 22,060万円	七北田川	無堤部浸水, 内水
昭和57年9月	浸水面積 312ha, 被害家屋 373棟, 一般資産等被害 420,974万円	七北田川, 梅田川, 萱場川, 高柳川, 西田中川, 藤川, 高柳川, 西田中川, 藤川, 南貞山運河, 八乙女川	内水, 窪地内水
昭和61年8月	水害区域面積 2,322ha, 被災家屋 3,561棟, 一般資産等被害 763,818万円	七北田川, 高野川, 藤川, 要害川, 八乙女川, 萱場川	内水
平成6年9月	水害区域面積 1,332ha, 被災家屋 66棟, 一般資産等被害 54,924万円	七北田川, 南貞山運河, 梅田川	内水
平成14年7月	水害区域面積 239ha, 被災家屋 34棟, 一般資産等被害 33,704万円	七北田川, 藤川, 梅田川, 高野川	内水
平成23年9月	水害区域面積 27ha, 被災家屋 44棟, 一般資産等被害 9,787万円	七北田川	内水
平成27年9月	水害区域面積72ha, 床上浸水 34棟, 床下浸水 38棟, 一般資産等被害 35,194万円	七北田川上流域 (泉区)	無堤部浸水

出典：水害統計（国土交通省河川局），宮城県土木部河川課資料

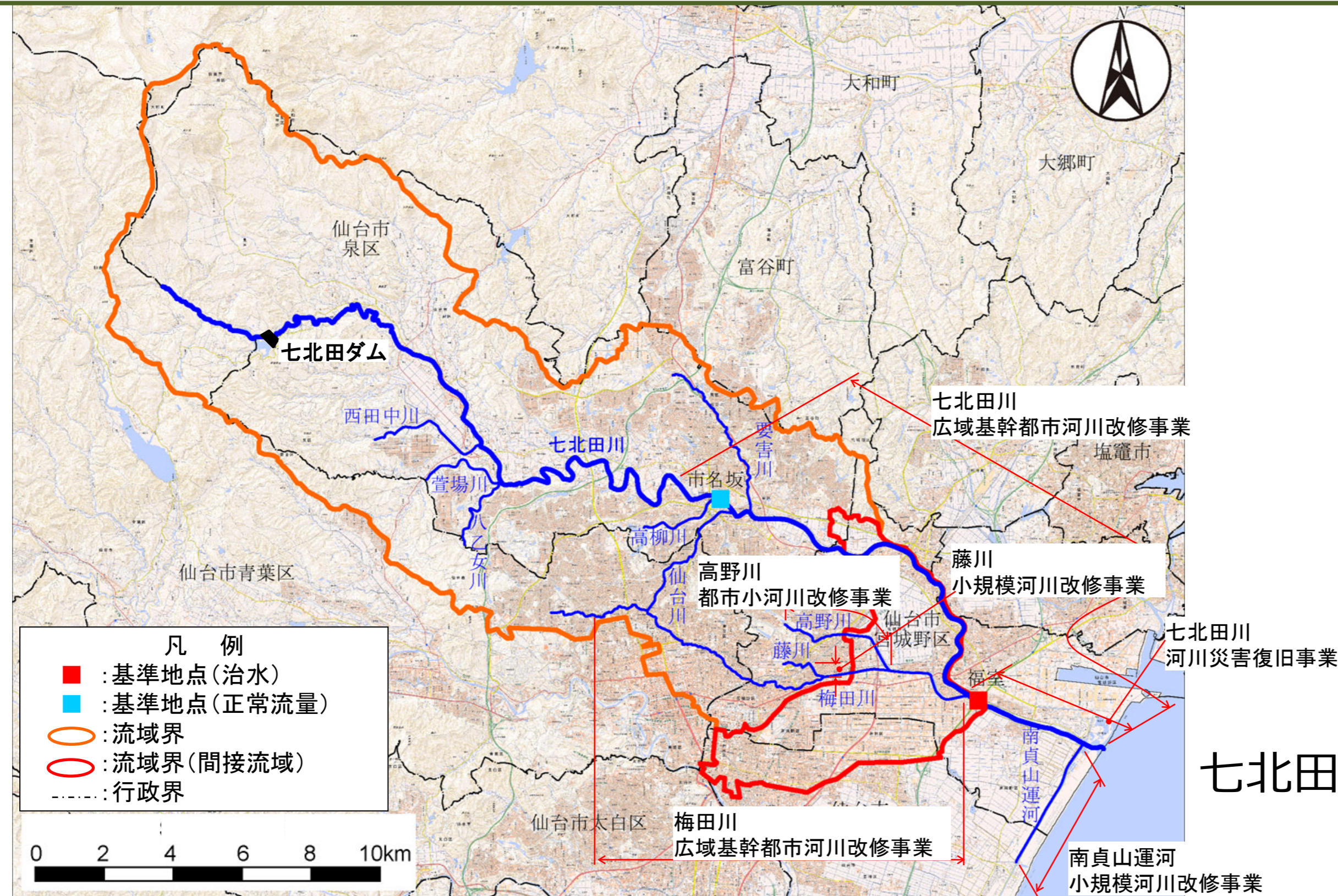


昭和61年8月洪水時の出水状況  
（仙台市宮城野区梅田川合流点付近）



# (7) 流域の治水事業の沿革

- 七北田川では，昭和22年9月及び昭和23年9月の洪水被害を契機に，昭和24年から中小河川改修事業（後に広域基幹都市河川改修事業）を実施
- 七北田ダムは，昭和44年～昭和60年の七北田川総合開発事業により整備
- 七北田川の主な支川については，大規模宅地開発による流出増に対応するため，計画に基づく整備が完了（ただし七北田川では改修を継続）
- 平成23年東北地方太平洋沖地震により河口部では河川災害復旧事業を実施中



七北田川流域の主な改修履歴

出典：全体計画書



# (8) 流域の自然環境

- 源流部は豊かな自然環境が残る渓流域で，河畔にはスギ，ヒノキ等の植樹林やコナラ群落が広がる
- 中流部は仙台市のベッドタウンとして開発が進む中，良好な自然環境が維持された田園風景を有し，河畔にはシロヤナギやススキの群落が広がる
- 下流部は住宅地，産業地区，水田となっており，河畔にはヨシ原が分布する
- 上流部の一部は県立自然公園船形連峰に，河口部の蒲生干潟一帯は仙台湾海浜自然環境保全地域に指定されている



自然公園等位置図

出典：国土数値情報，  
宮城県自然保護課



## 2. 七北田川水系の現状及び課題



# (1) 治水に関する現状と課題

- 七北田川下流区間（赤生津大橋より下流）は，流下能力不足を解消するため広域基幹河川改修事業等により改修を進めている
- 七北田川上流区間（赤生津大橋より上流）は，平成27年9月に洪水被害が発生

